

記念音楽会

真実の歌 真実の愛

須貝 沙 織 (H22年卒)

九里学園創立百九周年記念音楽会は、中山エミさんをお迎えして行われました。ポピュラー、カンツォーネ、シャンソンと多くのレパートリーをお持ちの方で、素敵な歌声で会場を魅了する歌をたくさん届けてくださいました。

中山さんのコンサートのテーマは、「今届けたい、今伝えたい 真実の歌、真実の愛」でした。第一部はシャンソンやカンツォーネを中心に、平和であることこそが人間らしく生きる絶対条件だということを熱唱されました。また山形県ということで「さくらんぼの実る頃」など会場の方の心を掴んでいらつしやいました。第二部ではポピュラーを中心に全世代が分かる曲ばかりでした。「千の風になつて」「愛燦燦」など、中山さんの心のフィルターをおとした歌い方で感動しました。

中山エミコンサート

アンコールでは、聴衆の方がステージに上がり中山さんと一緒に歌ったり、会場が一体となって楽しいステージになりました。このコンサートで、歌の素晴らしさ、音楽の素晴らしさを改めて実感することができました。中山さんが伝えたいこと全てが歌になって、会場全体に響き渡っていました。素敵な時間をありがとうございました。



同窓会主催から学校へ移行

四十五年間の感動のステージに感謝

同窓会の大きな事業として四十五年間続けてきました記念音楽会は、今年度の「中山エミコンサート」で主催を終了することに、十二月の役員会で正式に決定しました。

音楽会は、昭和四十一年「坂本博士と歌おう」ではじまり、この間立川澄人、島田祐子、芹洋子、小椋佳、バレエ・オペラ・合唱・器楽・他沢山の出演者と感動の場面が生まれました。惜しまれてなりません。しかしながら学校に移

行するという結論になった理由としては、同じようなコンサートが増え、鋭意努力したにもかかわらず観客数の減少が顕著になったことが一番の原因にあげられます。また、生徒と同窓生が同じコンサートでの二ステージ制だったため、両世代が望む接点として、一つの音楽に絞られられない難しさがあったということもあります。毎年楽しみにしてこの会を支えてくださった同窓生の皆様にかか

ら感謝いたします。主催としては終了しますが、九月十三日の創立記念日には、学校主催の芸術鑑賞として続けられる予定ですので、同窓会としてはその会に合流という形になります。「いいものに出会いたい」という音楽会の趣旨を引き継いで催されるものです。今後ともご支援賜りますようお願いいたします。

学園近況

各部、各クラス全員集合!

校長 九里 廣志

今年、九里学園は百十周年を迎えます。長い歴史の中で、生徒たちが元気に学び、多彩な成果を数多く作ってきました。そのような『生徒の歴史』特に部活動での活躍の歴史を、この機会に整理し、クロージングアップしてみたいと考えています。

例えば、以前は華々しい活躍をしていた部でも、現在はなくなってしまうものが幾つかあります。フェンシングやハンドボール、山岳などです。文化系の部でもそのようなものがあるのでしょうか。今、私たちが先輩たちに現在の生徒の活躍の様子をお伝えしているのと同様に、先輩たちの活躍の歴史を、後輩たちにかかりと受け継ぎたいと思うのです。また、男子生徒が入学し「米沢女子」高校から「九里学園」高校に校名が変わりました。その一期生が卒業してちょうど十年を迎えます。昨年の国体での江口君の日本一など、男子生徒の活躍も目を見張るものがあります。卒業した男子諸君には、後輩のために、また同窓会のためにも、色々な場面で活躍できる力が備わってきた頃と思っています。期待しています。

今年を、高校時代を振り返り、また大きく飛躍するきっかけの年にしていただきたいものです。各学年が、各クラスが、そして各部が、この百十周年を機会に集まってみませんか?